

コード	501030503
記入日	H26.5.26

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	釜崎 儀弘

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	体育活動補助事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	3
基本事業コード	50103	基本事業名称	義務教育の充実	目コード	1
事務事業コード	5010305	事務事業名称	中学校体育・文化活動補助事業費	細目コード	1249
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町立中学校体育連盟活動費補助金交付要綱 新上五島町立中学校生徒の中体連大会出場費補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 新上五島町中学校体育連盟	(対象指標1) 1団体
(対象2) 町内中学校	(対象指標2) 6校
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）
(全体)	(評価年度実績)
*****	・中学校体育の健全なる普及発達を図るため、中学校体育連盟が行う事業に対し助成を行った。 →参加出場実績 町中体連大会参加 6校 県中総体大会出場 6校 県新人戦大会出場 6校
	① (達成率分析) 補助金の申請があり、内容を審査し適正であったので補助金を交付した。
	② (達成率分析) 補助金の申請があり、内容を審査し適正であったので補助金を交付した。
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）
・町内で開催される中体連大会の円滑な運営及び体育教育の振興を図るため、運営にかかる経費を補助する。 また、県中総体大会、県新人戦大会等への出場に対し、旅費を補助することで中学校部活動の振興、加えて、保護者の経済的負担の軽減を図る。	① (達成率分析) 中体連大会の円滑な運営、体育教育及び中学校部活動の振興が図られる。
	② (達成率分析)

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	9	9	8	1	1				
	② 件	61	61	47	14	14				
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	33,599	33,599	25,662	7,937	7,937				
直接事業費 A	千円	27,299	27,299	20,062	7,237	7,237				
人件費 B	千円	6,300	6,300	5,600	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.9	0.9	0.8	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	33,599	33,599	25,662	7,937	7,937			

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	中学校生徒の身体及び精神力の向上のため体育活動は重要であり、その振興を図ることは必要である。また、県大会等に出場するには、離島であることから費用がかかり、保護者負担の軽減を図るため、補助金を交付することは必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	部活動の振興を図ることで、生徒たちの身体及び精神力の向上につながっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	十分な支援を行っている。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	補助金を交付し、事業が実施されているので、中学校生徒が部活動をとおして健全かつ有意義な学校生活を送っている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	必要最小限の人員で行っているため、手法は変えられない。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	中学校体育の健全なる普及発達を図るため、文化活動補助金との均衡を図りながら、より適正な補助金額を決定する。
	今後、課題に向けた改善策	平成26年度より補助金額の見直しを行う。

2次評価	生徒が部活動を通じて県大会等へ出場することは、体育教育及び部活動のレベルアップと健全育成の面からも有効なものと判断する。文化活動補助金との均衡を図り、事業の成果をさらに向上させるため、補助金の交付基準の見直しを検討すること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
	●	●		事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。